

第 109 回番組審議会議事録

- 1 開催年月日 書面開催にて開催日は決めず、開催要項を 9 月 1 日に送付し
9 月 15 日を締め切りとして番組審議委員より意見を募った。
- 2 開催場所 書面開催にて開催場所の設定はなし。
- 3 意見提出について
 - 委員総数 13 人
 - 意見提出委員 8 人
- 4 議題 ラジオ高崎の番組内容について
 - 「文房ぐっとラジオ」について
 - 番組全般について
 - その他
- 5 議事の概要 (別紙)
- 6 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、
方法及び年月日
 - ・書面 ラジオ高崎に備え置き
 - ・ホームページ ラジオ高崎ホームページ内 <http://www.takasaki.fm>
 - ・ラジオ高崎放送 令和 2 年 9 月 27 日(日) 午前 6 時 55 分～6 時 59 分
- 7 その他の参考事項

(別紙)

- ・審議委員各位に送付した資料に記した審議対象番組「文房ぐっとラジオ」の説明。

「文房ぐっとラジオ」は、アサヒ商会「HI-NOTE」高崎店の大河原睦店長が夕方ワイドの「エアープレイス」にゲスト出演して頂いていることがきっかけで7月4日(土)に始まったアサヒ商会提供の5分番組。「HI-NOTE」のおすすめ文房具を紹介している。

また、番組放送時刻が毎週土曜日午後1時55分から2時までとなっており、最後が時報になっているという今までにない番組構成もポイントのひとつ。

本放送は毎月第1・3土曜日、第2・4・5土曜日は再放送。なお、同番組の収録素材は「HI-NOTE」高崎店で概ね30分に1回流れている。

出演：商品紹介 「HI-NOTE」高崎店スタッフ2名
ナビゲーター ラジオ高崎 田野内明美

制作担当：ラジオ高崎 堀口夏希

審議対象：8月15日(土)本放送 22日(土)・29日(土)再放送

※アップロードしたOA済素材をダウンロードして視聴する方法とCDの送付による視聴の両方を採用。

- ・委員各位の意見

「文房ぐっとラジオ」について

- 文房具は幅広い年代、中でもSNSやロコミで発信力のある若年層や女性の関心の高いコンテンツである上、文房具に絞った企画は他の媒体を含めてもあまり例がなく、リスナーの開拓に貢献が期待できる。ラジオアプリによるリスナー拡大でも、目玉番組になりうると感じる。
- 「リングを柔らかい素材にしたら、リングが邪魔にならず使いやすくなった」「製品を薄くしただけで売り上げが格段に伸びた」など、文房具以外の商品開発でも応用できそうな情報があり、ビジネスマンにも有益でなんとなく聞いていても引き込まれる。
- 商品が開発された背景や、特に効果的に利用されている事例が紹介できれば、番組の社会性が引き立ち、価値が一層高まると感じた。

○今回の商品の場合「リングノート」の形状や使い方をただちに想起したり、理解できる人にとってはまったくストレスなく聞けるが、具体的にイメージできない場合、番組そのものを不親切と感じてしまうリスナーがいるかもしれない。番組の早い段階で「開くと綴じ込み部分がリング状に見えるノートで、ページを切り離すとき『パタパタ』といった感じの音がするやつですよ」と話すなど、商品によってはイメージを共有するための語り掛けや説明が必要かもしれない。

○文房具にターゲットを絞って紹介するというのは、斬新な企画だと思う。時報をお知らせする取り組みも好印象。商品进行分かりやすく丁寧に説明しており、購買意欲が沸く。文房具は学生の必需品であり、また、若い女性にも人気の高い商品なので若い層のリスナー獲得にも期待できる。尚、紹介だけでなく紹介した商品をリスナーにプレゼントする企画があってもよい。

○「HI-NOTE」高崎店の男女二人のスタッフが、それとなく男女それぞれの視点から商品の魅力を PR していると感じられ好感を持った。ナビゲーターの落ち着いた MC、BGM も番組の内容にジャストフィットしており、キャスティングや演出も優れていると感じた。

○「コクヨ・ソフトリングノート」は店舗でチェックした事があるがとてもよい商品。出演者の笑い声や相づちも心地よく和やかに商品説明がされており、興味を持って実際に検索してチェックしたリスナーも多いのでは。このように、収録した短い番組を様々な各店舗で BGM の間に流すのは広告効果としても有効だと思う。ビジネスの一貫として様々な店舗や企業に利用できるのではないかな。

○文房具というのは子どもから学生、社会人と、とても幅の広い層をターゲットとして取り込めるツールでありテーマだと改めて感じた。コロナで在宅で仕事をする人も増えた。まだ終息しない状況の中でのストレスも、デスク周りやバッグの中の手持ちの文具ひとつが、小さいながらもその世界観を豊かなものにしてくれるような気がする番組だと思う。同時に、とてもタイムリーなテーマであり企画者の心意気さえ感じられる。

○文具の世界はびっくりするほど進化しているのがよく分かる。紹介される最新文具にはとても興味があり「ぷにゅぷにゅリングノート」は破りたいときはどうなるのかなと思った。今後も楽しい文具紹介を聞かせて欲しい。

○もちろん映像がないので目では見られないものの、説明から商品イメージが伝わってきた。店舗に出向いて確認してみたいかな様な説明もよかった。新学期が始まる前に再放送をするとよいと思う。

番組全体について

○新型コロナウイルスの最新情報を専門家や行政トップのインタビューなどを中心に紹介する『マケルナラジオ』はとても良い試みだった。高崎市内でも陽性者が確認される日が多く終息したとはいえない状況なので、引き続き有益な情報や医療の現場のことなど伝えてもらいたい。

○コロナ禍での何かと制約の多い中で、取材や番組への取組みも真摯に工夫しているのは本当に頼もしい。在宅ワークでラジオを聴く人も増えるのではないかなと思う。そういった意味では、番組の時間枠も通勤時とかアフター5といったところから、日中の仕事の中で聴けるものを取り入れながら、ますます多くのリスナーに愛される番組作りをして欲しい。

○アプリケーション「ラジコ」で聴けるようにはならないか。簡単ことではないと思うが、他の仕組みも含めて「聞き逃し配信」を検討してもらいたい。

○ラジオ高崎の放送は元気に発信されているものが多い。車の中でマスクをつけないで聞いているとコロナを忘れるよう。

以上